都道府県警察官募集

北海道	〒060-8520 札幌市中央区北2条西7丁目	北海道警察本部採用センター	0120-860314
青森県	〒030-0801 青森市新町2-3-1	青森県警察本部警務課人事・採用係	0120-337314
岩手県	〒020-8540 盛岡市内丸8-10	岩手県警察本部警務課人事係	0120-204034
宮城県	〒980-8410 仙台市青葉区本町3-8-1	宮城県警察本部警務課採用係	0120-204606
秋田県	〒010-0951 秋田市山王4-1-5	秋田県警察本部警務課人事・任用係	0120-863314
山形県	〒990-8577 山形市松波2-8-1	山形県警察本部警務課人事係	023-625-0871
福島県	〒960-8686 福島市杉妻町2-16	福島県警察本部警務課人事第一係	0120-276314
茨城県	〒310-8550 水戸市笠原町978-6	茨城県警察本部警務課採用係	0120-314058
栃木県	〒320-8510 宇都宮市塙田1-1-20	栃木県警察本部警務課人事係	0120-486106
群馬県	〒371-8580 前橋市大手町1-1-1	群馬県警察本部警務課警察官採用推進室	0120-449803
埼玉県	〒330-8533 さいたま市浦和区高砂3-15-1	埼玉県警察採用センター	0120-373514
警視庁（東京都）	〒183-8555 府中市朝日町3-15-1	警視庁採用センター	0120-314372
千葉県	〒260-8668 千葉市中央区長洲1-9-1	千葉県警察本部警務課任用係	0120-764032
神奈川県	〒231-8403 横浜市中区海岸通2-4	神奈川県警察本部警務課採用係	0120-034145
新潟県	〒950-8553 新潟市中央区新光町4-1	新潟県警察本部警務課採用係	025-280-0334
山梨県	〒400-8586 甲府市丸の内1-6-1	山梨県警察本部警務課人事係	0120-314874
長野県	〒380-8510 長野市大字南長野幅下692-2	長野県警察本部警務課警察職員採用センター	0120-314031
静岡県	〒420-8610 静岡市葵区追手町9-6	静岡県警察本部採用チーム	0120-489276
富山県	〒930-8570 富山市新総曲輪1-7	富山県警察本部警務課採用係	0120-376032
石川県	〒920-8553 金沢市鞍月1-1	石川県警察本部警務課人事係	0120-369498
福井県	〒910-8515 福井市大手3-17-1	福井県警察本部警務課人事係	0120-207110
岐阜県	〒500-8501 岐阜市薮田南2-1-1	岐阜県警察本部警務課人事第一係	058-271-2424 内線2633
愛知県	〒460-8502 名古屋市中区三の丸2-1-1	愛知県警察本部警務課採用係	052-961-1479
三重県	〒514-8514 津市栄町1-100	三重県警察本部警務課採用係	059-222-0110 内線2644
滋賀県	〒520-8501 大津市打出浜1-10	滋賀県警察本部警務課採用係	0120-204314
京都府	〒602-8550 京都市上京区下立売通釜座東入藪ノ内町85-3、85-4合地	京都府警察本部警務課採用係	0120-555314
大阪府	〒540-8540 大阪市中央区大手前3-1-11	大阪府警察官採用センター	0120-370314
兵庫県	〒650-8510 神戸市中央区下山手通5-4-1	兵庫県警察官採用センター	0120-145314
奈良県	〒630-8578 奈良市登大路町80	奈良県警察本部警務課採用係	0120-351204
和歌山県	〒640-8588 和歌山市小松原通1-1-1	和歌山県警察本部警務課採用係	0120-217314
鳥取県	〒680-8520 鳥取市東町1-271	鳥取県警察本部警務課人事係	0120-022712
島根県	〒690-8510 松江市殿町8-1	島根県警察本部警務課人事係	0120-032764
岡山県	〒700-8512 岡山市北区内山下2-4-6	岡山県警察本部警務課人事第二係	0120-055314
広島県	〒730-8507 広島市中区基町9-42	広島県警察本部警務課採用係	082-228-0110 内線2633～5
山口県	〒753-8504 山口市滝町1-1	山口県警察本部警務課人事係	083-933-0110
徳島県	〒770-8510 徳島市万代町2-5-1	徳島県警察本部警務課人事係	088-621-2953
香川県	〒760-8579 高松市番町4-1-10	香川県警察本部人事課人事係	087-833-0110 内線2623～4
愛媛県	〒790-8573 松山市南堀端町2-2	愛媛県警察本部警務課人事第一係	0120-204724
高知県	〒780-8544 高知市丸ノ内2-4-30	高知県警察本部警務課人事係	0120-032376
福岡県	〒812-8576 福岡市博多区東公園7-7	福岡県警察本部警務課採用センター	092-622-0700
佐賀県	〒840-8540 佐賀市松原1-1-16	佐賀県警察本部警務課人事係	0952-24-1111 内線2653
長崎県	〒850-8548 長崎市万才町4-8	長崎県警察本部警務課採用係	095-820-1504
熊本県	〒862-8610 熊本市中央区水前寺6-18-1	熊本県警察本部警務課採用係	096-381-0110 内線2643～4
大分県	〒870-8502 大分市大手町3-1-1	大分県警察本部警務課人事係	0120-204110
宮崎県	〒880-8509 宮崎市旭1-8-28	宮崎県警察本部警務課人事係	0120-032314
鹿児島県	〒890-8566 鹿児島市鴨池新町10-1	鹿児島県警察本部警務課採用係	099-206-2220
沖縄県	〒900-0021 那覇市泉崎1-2-2	沖縄県警察本部警務課人事第二係	098-862-0110 内線2667

警察庁長官官房人事課

東京都千代田区霞が関2-1-2　TEL.（代表）03-3581-0141

警察官として生きるということ

人々が事件、事故、思わぬ災害などに巻き込まれ困っているとき、
そこに駆けつけ身を挺して守る。それが警察官の使命です。
日本全国で活躍する警察官は約26万人。
一人ひとりが任務への誇りを胸に秘め、
それぞれがプロフェッショナルとして役割を果たしています。
警察官は職業ではなく、むしろ生き方なのかもしれません。
ぜひ、あなたもその一員として、将来なりたい自分像を、
そしてあなたの生き方を、私たちに聞かせてください。

03 生活安全警察

日常生活で発生する犯罪から地域住民を守るため、犯罪の取締りや防犯対策を早期に行い、犯罪の起きにくい街づくりを行う部門です。各種防犯対策に加え、児童虐待、DV・ストーカー、サイバー犯罪などの捜査や取締りを行っているのが生活安全警察です。

05 地域警察

日本の治安の良さは世界的に有名。日本全国くまなく配置されている交番・駐在所のネットワークで市民の安全を守っています。交番・駐在所を拠点に地域と密着して、地域住民や企業、自治体などと協力しながら、安全な生活を確保する任務を担っているのが地域警察です。

07 刑事警察

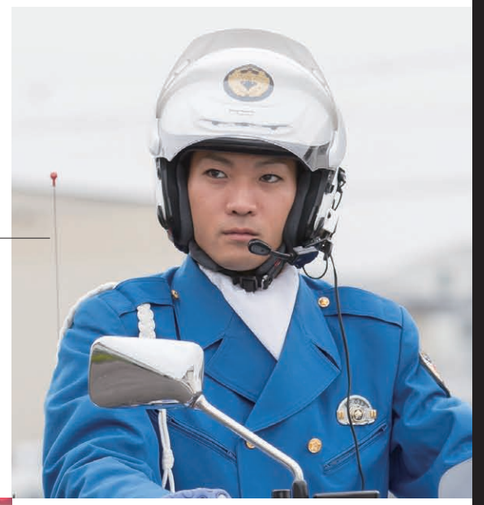
凶悪犯罪をはじめ、人々の生命や財産、安全を脅かす犯罪に対応するのが刑事警察です。対象とする事案は幅広く、知能犯罪、窃盗犯罪、薬物・銃器犯罪、性犯罪、組織犯罪、国際犯罪にも対応。鑑識や科学捜査を駆使し、事件の解決と犯人の検挙、犯罪組織の壊滅にあたります。

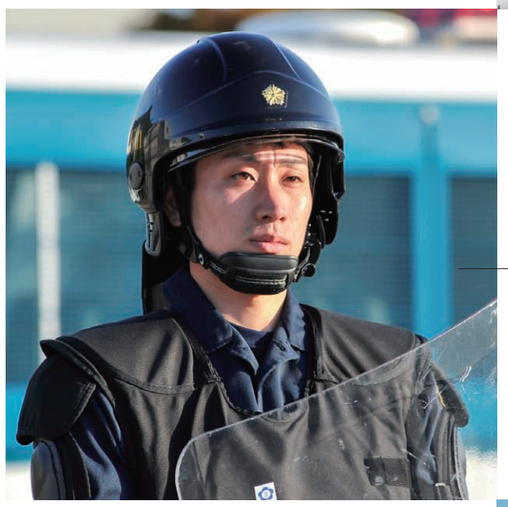
257,041

都道府県警察官の数（平成26年4月1日現在）

09 交通警察

交通事故の防止と死傷者数の減少を目指し、誰もが安心して生活できる交通社会を実現するため活動しているのが交通警察です。事故の現場となりうる街頭での指導・取締りに加え、ひき逃げや交通事故の保険金詐欺など、交通特殊事件の捜査も交通警察の重要な任務です。





11 警備警察

強靭な精神力と機動力を活かし、住民の安全な生活と生命を守るために組織された警備警察。災害時の救助活動から、祭礼・イベントなどにおける雑踏警備、空港や港湾施設など重要施設の警戒・警備、テロ・ゲリラ行為の防圧・検挙まで積極果敢に行います。

13 総務・警務警察

警察の組織運営・活動をあらゆる面からサポートする部門です。総務警察は議会や公安委員会との連絡・調整、広報活動、予算管理、装備資機材の整備・開発、留置管理などを担当。警務警察は警察職員の採用・人事や福利厚生の整備、犯罪被害者の支援などを行います。

都道府県の警察組織

都道府県には、都道府県知事の所轄の下にある都道府県公安委員会の管理の下に都道府県警察が置かれています。都道府県警察には、警察本部、警察署が設置されており、さらに警察署の下部組織たる交番、駐在所のネットワークが全国に張りめぐらされ、安全で住み良い社会づくりを目指しています。

- 都道府県知事
  （所轄）
- 都道府県公安委員会
  委員３人又は５人
  （管理）
- 警視庁・道府県警察本部
  - 警視総監・道府県警察本部長
    - 総務部
    - 警務部
    - 生活安全部
    - 地域部
    - 刑事部
    - 交通部
    - 警備部
  - 市警察部
  - 警視庁・道府県警察学校
- 警察署
- 交番
- 駐在所

Contents

03 生活安全警察
05 地域警察
07 刑事警察
09 交通警察
11 警備警察
13 総務・警務警察
15 警察学校
17 警察官採用試験
18 福利厚生・待遇

地域から信頼される
警察官を目指して。

生活安全警察

徳島県警察本部　生活安全部　生活安全企画課　巡査部長

日々身近なところで発生する犯罪から地域住民を守るため、犯罪の取締りや防犯対策を早期に行い、犯罪の起きにくい街づくりを行う部門です。犯罪の実態や不審者情報の提供を行い、地域の情勢に合った住民の自主的な防犯力の向上にも努めています。風俗営業や古物営業、銃砲などの許認可をはじめ、DVやストーカー、児童虐待への対策や少年犯罪、悪質商法、違法風俗、そして近年急増しているサイバー犯罪などの捜査・取締りなど幅広い活動を行っており、全ての地域住民が安心して過ごせるよう、尽力しています。

タイムテーブル

- 8:30
  朝会
- 9:00
  不審者情報の収集、データ入力、分析。
- 12:00
  昼休み
- 13:00
  各種文書の作成。相談電話への対応
- 17:15
  勤務終了

私の考える警察官

犯罪の容疑者を検挙するのにとどまらず、犯罪の予防に貢献できる警察官でありたいと願っています。一つでも犯罪の発生を減らしていくことで、地域住民が安心して生活できる環境を実現していくことが理想です。また、犯罪の被害者に対しては、常に思いやりの気持ちを大切にしていきたいと考えています。

私の採用試験対策

理学部ということもあり、卒業論文の作成に忙しく、採用試験を安易に考えていました。その結果、1年間、浪人するはめに。そこから奮起して、2月から6月にかけて集中して勉強しました。市販の公務員試験対策用の参考書や問題集を活用し、同じ問題を何度も繰り返して解き、実力をつけたことが結果につながったと思います。

情報の収集、分析を通じて性犯罪を未然に防ぐのが使命

私が所属する生活安全企画課子ども・女性安全対策室は、子供や女性を狙った性犯罪の前兆と思われる「声かけ」や「つきまとい」などの事案に関する情報の収集及び分析を担当しています。これらの情報をもとにして容疑者の検挙を行うとともに、防犯につなげることが重要な任務です。事案に関連した車の種類や声かけの文言など、日々、各方面から集まってくる情報を分析し、事件が発生しそうな場所をあらかじめ想定することによって、防犯対策に役立つことを目指しています。大切なことは、たとえ小さなことでも前兆事案を見落とさず、潜在的な事犯を見つけ出すことです。ミスが許されない仕事だけに緊張の連続ですが、地域の安全・安心を守るという強い使命感のもと、自分の任務に全力を尽くしています。

Beginning　なぜ警察官を選んだのですか？

生まれ故郷である徳島の地が好きだったことから、地元で活躍できる公務員を目指そうと考えました。その中で、何か人のためになる仕事に取り組みたいと考えた結果、警察官を志望することにしたのです。また、結婚後も続けられる仕事であることも志望した理由の一つです。

Dream　将来の目標は？

徳島県内において、事件の発生をゼロにすることが、私にとっての理想です。その実現に向けては険しい道が待っているかもしれませんが、真摯な気持ちで防犯に取り組んでいます。その過程で上司や部下、そして県民のみなさんから信頼される警察官を目指していきたいと思っています。

Incident　印象に残っている事案は？

被害を受けた女性の話にじっくり耳を傾け、適切に対応したことで、感謝や激励の言葉をいただき、この仕事のやりがいを強く感じました。被害者の心の不安を多少でも和らげることができたと思います。一方で、親身に対応したつもりでも厳しい指摘を受けたことがあり、一人ひとりの思いにしっかり応える対応が必要だと痛感しました。

母親として、警察官として

自分の子供が5歳になり、親の立場で物事を考えるようになったと感じています。その分、被害者や相談に来る人に対して、より親身になって対応し、何がより良い解決方法なのかを考えるようになりました。これまで以上に地域との結びつきを大切にして、犯罪を未然に防ぐ取組に力を注いでいきたいと考えています。

事件・事故防止に努め、
安心して暮らせる街づくりを。

地域警察

千葉県松戸東警察署　地域課　巡査

世界から高く評価されている日本の治安の良さ。それを支えているのは、日本全国くまなく配置されている交番・駐在所のネットワークと言っても過言ではありません。この交番・駐在所を拠点に地域と密着して、地域住民や企業、自治体などと協力しながら、安全な生活を確保する任務を担っているのが地域警察です。日常のパトロールや職務質問などは、犯罪を未然に防止し、ときには凶悪犯の検挙につながる重要な活動です。また防犯指導や遺失届・拾得物の取扱い、地理案内、さらに各種相談の受理など広汎な業務を担当し、地域住民の最も身近な存在となっています。

タイムテーブル

- 9:30 出勤。前日の勤務員と引継ぎ
- 11:00 交通取締りを実施
- 12:00 交代で昼食
- 14:00 巡回連絡。空き巣の現場へ臨場
- 19:00 夕食
- 0:00 パトロール、泥酔者の保護など
- 3:00 仮眠
- 6:00 街頭活動など
- 9:30 翌日の勤務員へ引継ぎ

私の考える警察官

世の中の様々な立場の人に接する仕事ですので、誰に対しても思いやりのある警察官が私の理想です。被害者のお話をしっかり聞くことはもちろん、被疑者や犯罪者に対しても先入観を持たずに接するようにしたい。そして、どうすればその人が二度と罪を犯さずにすむのか、ともに考える警察官になりたいです。

私の採用試験対策

市販の参考書の問題をひたすら解き、ランニング、腕立て伏せ、腹筋運動を毎日続けました。もっとも大切なことは、各都道府県警のホームページを見て、職務の内容をしっかり理解することです。祖父の「警察官は人の為になる仕事だ。頑張りなさい」という言葉が大きな励ましになりました。

子供や高齢者など弱い立場の人を守りたい

地域住民の声を直接聞き、安心して暮らせる街づくりに貢献するのが地域警察官の仕事。例えば、交番勤務の重要な業務の一つに巡回連絡があります。地域に住む一人暮らしのご高齢者のお宅を1軒1軒訪問するのですが、お話を聞くだけで本当に喜んでもらえます。一般の方にとって、警察署へ連絡するのはかなりハードルが高い行為。そのため、「どんな小さなことでもご相談ください」と声かけを続けています。他人が見たら小さなことでも、ご本人にとっては重大なトラブルであったりするからです。交番前で立番をしているときも、小学生が一人で歩いていたら声をかけます。子供たちが手を振ってくれたり敬礼したりすると、警察官に親しみを持ってくれていると感じ、心からうれしくなります。

Beginning　なぜ警察官を選んだのですか？

小学2年生のとき、小学校の交通安全指導に来た女性警察官がとても素敵だったことがきっかけです。敬礼する姿がかっこよく、交差点の渡り方や自転車の点検方法などを丁寧に教えてくれました。高校生になって将来を考えたとき、大学進学よりすぐに働きたいと思い、同じ働くなら人の役に立つ仕事がしたいと警察官を選びました。

Dream　将来の目標は？

警察官になる前から、子供や高齢者など弱い立場の人が狙われる事件を減らしたいという想いがありました。さらに今は、罪を犯す人を減らしたいという視点が加わりました。今後は生活安全課で少年事件を担当したいと思っています。少年のうちに犯罪の芽を摘み、更生させることができれば、その後の大きな犯罪を未然に防げると思うからです。

Incident　印象に残っている事案は？

初めて被害者に聴取を行った、女子高生への路上痴漢事件です。被害者を傷つけないように、最初は話しやすい内容から尋ね、言葉に気をつけながら核心の情報を聞き出しました。その後、私が交番の前で立番をしていると、通学中の彼女が会釈をしてくれるようになりました。

毅然とした態度で立ち向かう

パトロールでは2人1組でミニパトカーに乗り、地域を回ります。女性警察官の場合、「なんでこんな若い女に」などと反論されることもありますが、気持ちが凹んでいるところを見せるわけにはいきません。今では毅然とした態度や相手を納得させる説明方法を身につけることができました。

正義感と使命感を持ち、
犯罪者と向き合う。

刑事警察

埼玉県警察本部　刑事部　機動捜査隊　巡査

殺人や強盗などの凶悪犯罪をはじめ、人々の生命や財産、安全を脅かす犯罪に敢然と立ち向かう刑事警察。対象とする事案は幅広く、知能犯罪、窃盗犯罪、薬物・銃器犯罪、性犯罪、組織犯罪、国際犯罪にも対応します。鑑識や科学捜査を駆使し、事件の解決と犯人の検挙、犯罪組織の壊滅にあたります。その任務の遂行には、強い意志と沈着冷静な判断力が不可欠です。絶えず被害者の立場に思いを致し、強い正義感と固い信念を貫き、事件を解決へと導きます。刑事警察は平常心を忘れず、罪を憎んで行動します。

タイムテーブル

- 8:00
  機動捜査隊出勤
- 8:30
  勤務開始。事件分析など
- 11:00
  容疑者の張り込み捜査、職務質問、110番通報の初動捜査
- 13:00
  容疑者の張り込み捜査。仮眠・休憩・事件分析など
- 7:30
  帰隊。引継ぎ、事務手続きなど
- 8:30
  勤務終了

私の考える警察官

警察官にとって、いちばん大切なものは「誇りと使命感」。正義を貫き、地域住民に信頼・信用される人が警察官のあるべき姿だと思います。犯人検挙後、被害者やご家族に報告すると、「ホッとしました」「ありがとうございます」など感謝の言葉をいただくことがあり、刑事部門ならではのやりがいを感じています。

私の採用試験対策

中学・高校で剣道部だったので、体力には自信がありました。一方、勉強はあまり得意ではありませんでしたが、大学の図書館で公務員用の参考書2冊を借り、独力で頑張りました。警察官になるために一番必要なのは、「人を助けたい」「警察官になりたい!」という気持ちだと思います。

覆面パトカーで事件現場へ急行。冷静沈着に凶悪事件に向き合う

交番勤務時代、1か月間刑事課で研修を受け、被害者の気持ちを考えながら冷静に事件を解決していく先輩方の姿に魅せられました。「刑事の登竜門」と呼ばれる留置管理課を経て、念願の刑事に。現在は機動捜査隊の一員として覆面パトカーに乗り、凶悪事件を担当しています。機動捜査隊の任務は、機動力を活かしていち早く現場へ駆けつけ、初動捜査や被疑者検挙を行うこと。現場へ急行するときは事件のことを考えつつも、歩行者や一般車両に最大限の注意を払いながら運転するため、どんなときも冷静沈着であることが重要です。犯人と現場で接する機会がいちばん多い部署ですので、自主的に週2回10kmのランニングや体幹トレーニングなどを行い、しっかり体を鍛えています。

Beginning　なぜ警察官を選んだのですか？

20歳のとき、近所に住む幼なじみが交通事故で亡くなりました。駆けつけて対面したとき、「なんでこんなことが起きるんだ」というやるせない想いでいっぱいに。以来、「これ以上不幸な人を増やしたくない。人々の安全を守る仕事がしたい」と考えるようになり、警察官を志しました。

Dream　将来の目標は？

10年先になるのか20年先になるのかわかりませんが、刑事部で部下から信頼される班長となり、活気あるチームを作りたいです。若い部下が自分の意見を言うことができ、普段は部下とざっくばらんに会話するけれど、いざ任務となればキビキビと現場指揮をする班長が理想です。

Incident　印象に残っている事案は？

強制わいせつ致傷事件の被疑者を緊急逮捕したことです。帰宅中の若い女性を襲った被疑者を探して周辺捜査し、2時間後、裸足で歩いている男を発見しました。被疑者は逃げる際にサンダルを片方残しており、「こいつだ!」と直感しました。職務質問したところ、男が逃走したため追跡、確保しました。

見えない努力が事件解決の鍵

任務中はスーツに革靴姿が定番。普段は上司とペアを組み、覆面パトカーで管内を巡回します。運転は交代で行います。管内の道路を熟知するため、休日はマイカーで裏道などを探す地理研究も行います。新しい発見があり、楽しい日課の一つです。

誰もが安心して暮らせる
交通環境の実現を目指す。

交通警察

岩手県警察本部　交通部　交通機動隊　巡査長

悲惨な交通事故の防止と死傷者の減少を目指し、誰もが安心して生活できる交通社会を実現するため活動しているのが交通警察です。交通事故による死者数は、減少傾向にあるものの、高齢者や歩行者が被害に遭う事故は依然として少なくありません。事故の現場となりうる街頭での指導・取締りに加え、ひき逃げや交通事故の保険金詐欺など、交通特殊事件の捜査も交通警察の重要な任務です。さらには地域社会との連携による交通安全教育の推進や、運転免許に関する事務、道路標識の整備、道路使用許可なども担当しています。

タイムテーブル

- 8:00 分駐隊出勤。制服に着替え朝礼
- 9:00 取締り用車両の点検・整備
- 10:00 交通指導・取締りへ出動
- 12:00 帰隊。昼食・休憩
- 13:00 午後の交通指導・取締りに出動
- 16:30 帰隊。車両の洗車、点検。交通切符等の整理、報告書などの作成
- 17:45 勤務終了

私の考える警察官

地域住民の平穏な生活を守り、社会秩序を維持するため、昼夜を問わず働く父の姿に魅力を感じ警察官になりました。私も常に地域住民と同じ目線で、激動する社会情勢にも臨機応変に対応しつつ、しかし時代の変化に惑わされることなく、自分の中にある正義の信念を貫いていきたいと考えています。

私の採用試験対策

一次試験対策としては、過去に出題された問題を解き、特に不正解だった問題は解説に加え、参考書なども熟読し自らの知識としました。二次試験対策はクラブ活動での体力向上と、スポーツジムでの筋力強化に努めました。面接試験対策は、教授などに模擬面接を繰り返していただきました。

様々な現場で経験を積み、着実に成長していることを実感

交通機動隊員は違法な事案を見逃さない注意力と、どのような事態にも一人で対応する能力が求められます。指導・取締りでは、私が若いが故に横柄な態度をとる違反者もいますが、常に心がけているのは冷静な対応です。また「反則切符」を切る場合も、「お急ぎでしたか」とか「○○方面は交通量が多いからお気をつけて」など、思いやりのある言葉を添えるようにしています。私たちの目的は、あくまでも安全運転の大切さを認識していただくことなのです。

マラソンの先導は、ランナーや沿道の観衆に気を配りながらの走行です。「白バイもがんばれ」という声援を受けることもあり、緊張感の中にも心なごむ任務です。日々様々な現場で、いろいろな経験を積んでいます。難しいことも苦労もあり、勉強も必要ですが、自分の成長を実感できる毎日です。

Beginning　なぜ警察官を選んだのですか？

以前から自分にはデスクワークより、体を動かす仕事が向いていると思っていました。また、祖父と父が警察官であり、小学生から習っていた剣道の先生も警察官であったことから、警察官という職業を身近に感じ、その姿を目にしていたことが一番の動機となりました。

Dream　将来の目標は？

交通警察のプロフェッショナルとして、交通事故の抑止と交通死亡事故ゼロを目標に、最前線で活躍していきたいと思います。まだまだ勉強不足ですので、交通警察の専門知識から一般常識まで幅広く身に付けることが現在の課題です。将来はひき逃げ事件など、交通捜査という分野にも挑戦したいと考えています。

Incident　印象に残っている事案は？

最初に配属された内陸部の交番勤務のとき、東日本大震災が発生し、一週間後に私も、沿岸部の支援に出動しました。実に多くの犠牲者がいたにもかかわらず、ATMを破壊して現金を盗むなどの犯罪がありました。「こんな中でも犯罪を犯す人がいるのか」と、とても残念でした。この時、地域住民を守らなければと、想いを新たにしたことは忘れられません。

安全管理に万全を期す

交通機動隊員の一日は白バイの点検から始まります。中でもタイヤやブレーキのディスクパッドは特に念入りにチェック。そしてウォームアップを兼ねた「慣熟走行」。自分のコンディションを把握する大切な時間です。夏は、日差しと路面の照り返しやエンジンの熱で体力を消耗するため、こまめに水分を取るなど暑さ対策が大事になります。

災害救助からテロ・ゲリラの防圧まで。
地域住民の安全・安心な毎日と尊い人命を守り抜く。

警備警察

その機動力を武器に、地域住民の安全な生活と生命を守るために組織された警備警察。災害時の救助活動から、祭礼・イベント等における雑踏警備、空港や港湾施設など重要施設の警戒・警備、テロ・ゲリラ行為の防圧・検挙まで積極果敢に行います。また国際会議などでの要人警護や、不法滞在者の取締りも担当。災害救助や治安維持に全力を挙げて当たり、文字どおり体を張って地域住民の平穏な暮らしを守っています。その任務は幅広く、日々の厳しい訓練は不測の事態に備えるため。心身ともに鍛練が求められます。

福岡県警察本部　警備部　機動隊　巡査

タイムテーブル

- 8:00
  出勤
  備品・装具の点検など訓練の準備を行う。
- 9:00
  朝礼。本日の業務内容や前日の反省点等を隊長・小隊長から聞く。
- 9:50
  降下訓練
- 12:00
  食堂にて昼食
- 13:00
  潜水訓練。訓練用プールや実地で証拠品捜索等の訓練を行う。
- 17:45
  終礼後、引継ぎ、勤務終了

私の考える警察官

警察官として誇りと使命感を持ち、昼夜を問わず地域住民のために任務を全うする。そしてその場にいるだけで地域住民が安心し、時には身が引き締まる、頼りがいのある存在―それが私の理想とする警察官像です。私も機動隊で鍛練を重ね、地域住民の期待と信頼に応えられる力強く、優しい警察官になりたいと思っています。

私の採用試験対策

過去の出題傾向を分析し、出題頻度の高い問題を繰り返し解いていきました。また面接対策としては「なぜ警察官になりたいのか」自問自答し、自己分析を徹底して行いました。しかし何より大切なのは強い信念です。「絶対に警察官になる。そしてこの手で人々を守る!」という熱い思いが面接官にも伝わったと思います。

「必ず守る！必ず見つける！」熱い使命感で日々の厳しい訓練に挑む

機動隊のスクーバ小隊において、スカイパトロールによる山岳・水難救助や水中の証拠品捜索、災害警備、治安警備など幅広い任務を遂行しています。日々厳しい訓練を行っていますが、それはいつでも、どんな現場でも即応できる知識・技術・機動力を身につけるため。海、川、湖、ダムなどの現場では、自然の脅威にさらされたり、視界がほとんどない水中で捜索活動を行うことも多々あります。また、バディを組んで行動するため、自分の間違った行動が仲間の命さえも危険にさらすことになりかねませんので、現場は常に真剣勝負！しかし苦労の末証拠品などを発見し、犯人の検挙に繋げることができたときはまさに感無量です。今後も「治安警備の最後の砦」であるという誇りを胸に訓練に挑み、どんな難しい任務も遂行できる高度な技術と精神力を身につけたいと思っています。

Beginning　なぜ警察官を選んだのですか？

幼い頃から「人の役に立つ仕事がしたい」という思いを抱いていました。小学生の頃、当時習っていた剣道の指導員が現役の警察官で、「心技体」全てにわたって導いていただき、一本筋の通ったその姿を見て「悪を挫き、平和を守る」警察官を志すようになりました。

Dream　将来の目標は？

機動隊で培った力をゆくゆくは自動車警ら隊で発揮できればと考えています。自動車警ら隊は、パトカーの機動力を生かして犯罪の予防・検挙、緊急事案の初動措置等を行う部隊であり、検挙だけでなく犯罪を未然に防ぐために尽力しています。その一員として活動し、犯罪で泣く被害者を減らすことが私の目標です。

Incident　印象に残っている事案は？

お亡くなりになっている可能性が高い行方不明者の捜索事案で、潜水員として初めて現場に赴いた時のことです。目撃情報をもとに潜水捜索を行いましたがかなり難航していました。しかし「ご家族のためにも絶対に見つける!」という強い思いで懸命に捜索を続けた結果、私自身の手で発見でき、家族のもとにお帰しすることができました。

全ては「完璧」に任務を遂行するため

山岳・水難救助活動をスムーズに行うため、高所から安全に降りるためのリペリング降下（垂直降下訓練）など様々な訓練に励んでいます。潜水捜索は波のある現場も多いため、錘を持ってその場に立ち止まる訓練や、各種資機材を使った訓練、海や河川などの実地訓練なども随時行っています。

警察活動を支えることで、
地域住民のくらしを守る。

総務・警務警察

総務・警務警察は警察の組織運営・活動をあらゆる面からサポートする部門です。総務警察は議会や公安委員会との連絡・調整、広報活動、予算管理、装備資機材の整備・開発、留置管理などを担当。警務警察は警察職員の採用・人事や福利厚生の整備、犯罪被害者の支援などを行います。警察という巨大な組織を支える「縁の下の力持ち」として、地域の安心・安全に貢献しています。

北海道札幌方面中央警察署　留置管理課　巡査

タイムテーブル

- 8:00 管理室内清掃、書類整理など
- 9:30 一般面会・弁護士面会の受付業務
- 12:00 交代で昼食
- 15:30 検事調べ単独護送から戻る
- 17:00 勾留状等を検察庁に取りに行く
- 18:00 勤務終了

私の考える警察官

警察官の仕事には、交番勤務をはじめ様々な業務があります。役割はそれぞれ違いますが、どの部署においても、事の大小にかかわらず、困っている人たちのために自分の知識やスキルを存分に活かして役に立ち、地域の住民から「頼りにされる警察官」になることを理想と考えています。

私の採用試験対策

公務員試験・警察官採用試験の問題集を、特に数的推理に重点を置いて、何度も繰り返し解いていました。暗記するのではなく「自分で理解する」まで勉強しました。勉強は1日4～5時間ぐらい。また面接対策では、高校の先生に面接官役をしてもらい、とても感謝しています。

警察活動を支える大切な仕事。そこにやりがいを実感

留置管理課の業務は、事件などで逮捕された被疑者を留置するとともに、検察庁・裁判所への護送を行うなど被疑者の人権に直接関わる業務です。留置された被疑者の中には逃げようとしたり、自殺しようとする人もおり、一時も気を抜かずしっかりと動静監視して、逃走や自殺を防止することも大事な任務の一つです。
私たちの仕事は、一般市民と接することもなく、どんな仕事をしているのか見えにくいかもしれません。でも、留置管理の業務は、地域住民の安全と安心を守るという警察活動を支える、とても大切な仕事であり、そこにやりがいを感じています。警察組織の縁の下の力持ちではありますが、それが私の誇りです。

Beginning　なぜ警察官を選んだのですか？

親の影響で小学生のころから柔道を習っており、高校2年の終わりに将来のことを考えた際、柔道を活かせる仕事がしたいと思い警察官という職業が浮かびました。また、今まで支えてくれた人や困っている人たちを、自分の力で助けられるところに大きな魅力を感じました。

Dream　将来の目標は？

後輩たちに頼ってもらえるような人になり、昇任できたら、しっかりと部下を育てていけるような人材になりたいです。様々な部署があるので、現在模索中ですが、どこの部署に行っても活躍できるような警察官になることが目標です。

Incident　印象に残っている事案は？

刑事課にいたとき、強制わいせつ事件が発生し現場に急行したのですが、被害女性が「男性が恐い」ということで話が聞けない状況でした。そこで私が部屋に入り、聴取したのですが、「女性の方だから話せました。親身に聞いてくれてありがとう」と感謝されました。そのときに女性警察官だからこそできる仕事の一つだと、初めて実感できたことを憶えています。

犯人を知ることは刑事への第一歩

留置管理課では、犯人が逮捕されてから刑事や検事の取り調べ、そして裁判所で刑が決まるまでの一連の流れを知ることができたり、人権に配慮しながら、逃走、自殺の防止を図るという注意力や判断力を磨くことができる場であると思います。そういった知識と経験が警察官としての将来の自分に必ず役立つと思い、日々業務に励んでいます。

石川県警察学校 警部補

■ Profile

●石川県松任警察署
地域課　交番（2年）

●石川県松任警察署
交通課　指導取締係
（2年）

●石川県松任警察署
刑事課　強行係（2年）

●石川県七尾警察署
刑事課　強行主任（1年）

●石川県松任警察署
地域課　機動警ら主任
（2年）

●石川県警察学校
指導係　拳銃担当教官
（3年目）

Point

警察学校ってどんなところですか？

警察官を志して、見事、採用された新人たちに対して、社会人としての一般常識をはじめ、警察官として職務執行していく上での基本を教える教育機関です。努力した分だけ必ず実を結び、卒業の頃には成長した自分の姿にきっと驚くことでしょう。

Motto

座右の銘

「努力に勝る才能なし」です。現在、第一線で活躍している先輩方も、最初は同じスタートラインから始まり、それぞれ努力をしてきたからこそ、素晴らしい職務執行ができるようになったのです。皆さんもこれからの努力次第で立派な警察官になることができるのです。

School days

私の警察学校時代

警察学校入校前は、体力面や寮生活に不安がありましたが、警察官になるという強い決意を持って警察学校の門をくぐりました。法律などの知識はありませんでしたが、各部門に精通した教官方の授業はとてもわかりやすく、順調に警察官としての必要な知識などを身につけていきました。また、毎日のトレーニングで自然と体力もつき、無事卒業の日を迎えました。厳しい学校生活も同期生と頑張り、支え合うことで、厳しい中でも楽しく過ごせたと思います。この経験が現場において困難を乗り越える力となりましたし、苦楽を共にした同期生との絆は一生の宝です。今でも心の支えとなっており、教官方や同期生には感謝の気持ちでいっぱいです。

Learn

警察学校で学んで欲しいこと

なにより一番大事なことは、心をしっかり鍛えて「警察官としての心構え」を身につけること。私たちの任務は浮ついた心で務まるほど簡単ではありません。社会人としての常識はもちろんのこと、社会の平和を守るという使命感と責任感を自覚し、だれからも信頼される力強い警察官として巣立ってほしいと願って、指導に努めています。その上で、無線通話要領や職務質問要領などの第一線ですぐに活躍するために必要な技能を習得し、即戦力として活躍できる人材になってほしいと思っております。

教官

警察学校

在校生

警察官として活躍し、成長するための原点がここにある。

高い志を持った若者が寝食を共にして、警察官になるための知識や技能を学ぶ。それは厳しくも充実した日々であり、将来、良き思い出となるでしょう。警察官の仕事は決して簡単ではありません。ときにはつらいこと、困難なことに直面することがあるはず。しかし、そうしたときに警察学校での体験を思い出すことで、壁を乗り越える力となるのです。

知識と技能と熱意を育む、警察官の原点

●人間としての総合力を育成する場
警察官として採用されると、各都道府県の警察学校に入校します。学校での生活は大卒者の場合、6か月間（大卒以外の者は10か月間）です。この間、警察官として求められる知識や技能、体力、精神力の充実を図ります。具体的には一般教養や法学、警察実務、術科・体育を修めることはもちろん、規則正しい集団生活を通じて、チームプレーを発揮するために必要な連帯感、個々の責任感を養います。

●寮生活で人間的にも成長
警察学校は全寮制です。最初の頃は慣れない集団生活に戸惑うこともあるかもしれません。でも大丈夫です。仲間と切磋琢磨するなかで、自分自身の人間的な成長に徐々に気付くはず。一緒に汗を流し、学びと訓練の中で育まれる仲間との友情は、人生におけるかけがえのない財産になることでしょう。警察学校での寮生活が規律ある警察官のスタートラインなのです。

●施設・設備
警察学校は本館（教場、講堂など）、寮舎のほか、射撃場、武道場、体育館、グラウンドなどで構成されています。

【警察学校での学び】

心身を鍛える充実した場です

現在、警察官として必要な法律などの知識を学ぶとともに、柔道剣道などの術科訓練に取り組んでいます。いずれも第一線で勤務する上で欠かせないことばかりです。また、基礎的知識や技能にとどまらず、警察官としてのキビキビとした態度や、元気で活発な行動など、地域住民に信頼される警察官になるための基本姿勢を身につけることができます。教官方の指導について、最初は厳しいと思うことがありましたが、それは自分の至らない点など指導されるだけの理由があるから。それを考えるようになって、指摘されることは全て自分のためになることばかりだと感謝するようになりました。また、ここでの毎日の生活は体力的にも精神的にもきついと感じる瞬間があるのですが、その際に助けとなるのが同期生の存在です。厳しい訓練を一緒にやり遂げる時間は大切でかけがえのないものにほかなりません。警察学校は警察官としての勉強をしながら、しかも同期生との絆を深めることができる最高の場所だと思っています。

警察官としての基礎と心構えを学ぶ

起床後、直ちに点呼をとり、規律ある集団生活が始まります。清掃や朝食、朝礼の後、いよいよ授業開始。タイムスケジュールに従って、警察官に必要な知識・技能を効率的に習得していきます。日課時限が終了後、夕食と入浴を済ませたら、さらに各自で自主活動に取り組みます。このほか、交番勤務などを経験する実務研修、クラブ活動、各種行事もあり、在校中は密度の高い学校生活を送れるように工夫・配慮されています。全ては警察官の基礎と心構えを形成するためにプログラムされているのです。

●警察学校の1日のタイムスケジュール（例）

6:00	起床/トレーニング/掃除
8:30	朝礼など
9:00	1時限目授業
10:30	2時限目授業
11:50	昼食・休憩など
12:50	3時限目授業
14:20	4時限目授業
15:50	5時限目授業
17:15	日課時限終了
18:00	夕食など
22:30	消灯

福利厚生

充実の各種制度でバックアップ

地方公務員である警察官は給与・勤務時間・職員住宅などの福利厚生が充実しており、安心して職務に励むことができます。希望と適性に応じて各種研修を受講し、実力を磨いて実績を積むことで、キャリアアップも可能です。

福利厚生・待遇

充実の人生には、ゆとりのオフがある

警察官の1週間あたりの勤務時間は38時間45分。1日7時間45分の通常勤務と、交番などの交替制勤務の2つに分けることができます。繁忙状況により変動はありますが、通常勤務は完全週休2日制。交替制勤務は平均して1週間あたり2日の休日を取れるように設定されています。週休以外の休日としては、有給休暇が年間20日間（勤務年数などにより異なる。最高40日間）あり、趣味や旅行を楽しむことができます。また、出産休暇、育児休業などの制度も充実しているため、女性警察官が出産した後も仕事を続けられる環境が整っています。

警察官の給与体系

地方公務員であるため、都道府県ごとに給与体系が定められています。人々の命や安全を守る「公安職」のため、同じ地方公務員の中でも「行政職」とは異なり、職務内容に応じた措置がとられています。勤務成績や勤続年数によって昇給するほか、通勤、住居、扶養、期末、勤勉などの各種手当が充実しています。

●給与体系例（4年制大卒/千葉県警察）

初任給（7%の地域手当込）
約 229,000 円

↓

1年目の賞与総額（6月・12月）
約 596,000 円

※都道府県警察によって異なります。

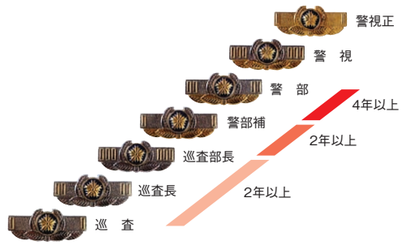
充実の独身寮。結婚後は家族住宅へ

職員住宅はワンルームタイプの独身寮から家族住宅まで整備され、希望に応じて入寮・入居できます。家族が増えると、より広い住宅へ転居することも可能です。また、警察共済組合が契約するホテル、旅館、レジャー・スポーツ施設が全国にあり、オフには家族旅行等に利用することができます。

昇任制度

やる気と実力次第でキャリアアップが可能

採用試験に合格して採用された者は、警察学校に入校すると同時に巡査となります。巡査以降の昇任には、試験によるものと勤務成績等に基づくものがあり、原則的に大卒者は採用後概ね2年で、大卒以外の者は採用後概ね4年で昇任試験を受けることができます。巡査に続く階級は、第一次的な幹部である巡査部長、そして「係長」として係をまとめる警部補、「課長」として業務管理の要となる警部など。さらにその先には所属組織を指揮監督する警視や警視正といった階級が設定されています。



研修制度

幅広い研修プログラムでスキルアップ

警察学校や警察本部・各所属で行われる教育以外にも、部外の教育訓練施設などで様々な研修制度が用意されています。その内容は、各専門分野に必要な知識や技能を高め、エキスパートを養成する「専科教養研修」、一般の大学や専門学校などで語学やＯＡ、税務、簿記などを学ぶ「委託教養研修」などがあります。

●各種研修制度の例

学校教養	巡査部長任用科、警部補任用科、刑事任用科、職務質問専科、交通捜査任用科、警護専科など
職場教養	白バイ乗務員訓練、少年相談実務研修、鑑識実務講習、情報技術活用研修など
その他教養	外国語委託研修、警察犬担当者委託研修など

海外勤務

海外を舞台に活躍

警察官の活躍の舞台は日本国内にとどまらず、海外にも広がっています。現在、都道府県警察から約１５０名の警察官が外務省に出向し、世界各国の日本大使館や総領事館で勤務しています。このように、努力次第で自分の可能性を広げることができます。

採用試験

警察官への道を拓く警察官採用試験

警察官になるには、警察官採用試験に合格しなければなりません。採用試験には一般教養や体力検査など複数の項目がありますが、もっとも重要なものは「警察官になりたい」という熱意。人のために働くやる気が求められています。

●合格発表までの流れ

応募
（各都道府県警察に応募）
↓
第一次試験
（教養試験（SA方式）など）
↓
第一次合格発表
↓
第二次試験
（論文・面接試験など）
↓
最終合格発表

※詳細は各都道府県警察にお問い合わせください。

警察官採用試験

共同試験を利用すれば、併願も可能

試験日程は第一次試験、第二次試験に分かれます。試験科目は「教養試験」「論文試験」「面接試験」「適性検査」「身体・体力検査」など。警察官の採用試験の中には複数の都道府県が共同で実施する「共同試験」という制度があり、志望者は一度に複数の都道府県警察に出願することができます。

教養試験	法学、政治、経済、歴史、数学などの一般教養。一般の公務員試験とほぼ共通。
論文試験	出題されたテーマについて、わかりやすく論理的に文章をまとめます。
面接試験	試験官が面接し、質問しながら人柄を見極めます。
適性検査	警察官としての適性を判断します。
身体・体力検査	体格基準の測定、関節や指の機能を見る検査、体力・運動能力を測る検査など。

※詳細は各都道府県警察にお問い合わせください。

都道府県ごとに実施。すぐに資料請求を！

警察官採用試験は各都道府県の警察本部ごとに実施されています。まずは受験したい都道府県警察の募集内容をよく確認し、指定の資料を添付して願書を提出します。身長、体重等の体格基準や視力基準も定められていますので、希望する都道府県警察に確認するといいでしょう。

ホームページで採用情報を入手

警察庁の採用ポータルサイト「POLICE HOME」は、全国の都道府県警察の採用ホームページにリンク。各都道府県警察の採用情報をチェックし、希望の職種を見定めて目標を絞り込むのに便利です。年２回募集するケースもありますので、こまめにチェックするといいでしょう。ほかにも警察官の職種紹介やＱ＆Ａなどのコンテンツがラインナップ。警察官採用に関する情報収集をサポートします。

http://www.npa.go.jp/police/index.htm